

NPO部門 会長賞

やえ
八重地区棚田保全委員会

鹿児島市

団体の紹介・活動の目的

当委員会は、昔ながらの石積み棚田と、それらを取り巻く八重山山地の自然景観、甲突池や棚田から望む桜島や錦江湾等の眺望など、魅力的な田園景観が形成されている鹿児島市郡山町八重地区において活動している団体です。

棚田を活用した農業体験やイベントを実施し、都市部住民との交流を深めるとともに、棚田保全利活用の共同活動を行うことにより、棚田の有する多面的機能の良好な発揮と集落の活性化を図ることを目的に活動しています。

令和4年3月には、八重の棚田が持つ魅力に加え、八重地区棚田保全委員会を中心とする地域の活動が評価され、優良な棚田を認定する取組である「つなぐ棚田遺産」に認定されました。

連携・協力している団体など

八重自治会、郡山校区コミュニティ協議会、鹿児島市商工会郡山支部

活動の内容

棚田オーナー制度に取り組み、都市部住民へ、田植えや稲刈りなどの農業体験の機会を創出し、農業・農村への理解を図っています。

耕作放棄地にひまわりの栽培を行うなど、景観の向上に取り組んだり、地元コミュニティ協議会や企業と連携し、棚田へのイルミネーションの設置を行ったりしています。

また、他県の棚田の取組みの視察・交流も行っています。

令和3年度、令和4年度は、コロナ禍のため実施できませんでしたが、例年12月には棚田オーナーと収穫祭を開催し、イノシシ鍋などを楽しんでもらっています。



棚田オーナー制度 田植え

6月の田植えの様子です。子どもも、大人も田んぼに入って苗を手植えします。



棚田オーナー制度 稲刈り

11月の稲刈りの様子です。以前はかけ干しをしていましたが、現在は、コンバイン刈りになっています。



耕作放棄地でひまわり栽培

令和4年から、道路沿いの耕作放棄地でひまわりを栽培しました。



イルミネーション

12月下旬から2月中旬まで、ソーラーLEDでイルミネーションの点灯をしています。